



ねん おおさか たんじょう
1958年に大阪で誕生
せかいはつ すしや
した世界初のお寿司屋。
みせ
それはどんなお店？

- ① **お寿司が回ってくる**
すし まわ
- ② **お寿司を機械で注文する**
すし きかい ちゅうもん
- ③ **お寿司を自分で作る**
すし じぶん つく

こた
答えはうら面で！



答え：①「お寿司が回ってくる」(回転ずし)です。元禄産業
 という大阪の会社が、ビール工場のベルトコンベアを
 ヒントに、お寿司をレーンで運ぶ「回転ずし」のお店を
 日本で初めて開きました。

調べてみよう！

『ニッポン第1号ものがたり(世の中への扉)』

(楠木誠一郎/著 講談社 2021.2 J031/30NX)

「たべもの」「がっこう」などのテーマごとに、日本で初めて何かをした人たちを紹介し、その当時の背景や歴史について解説した本です。
(中学年～)

『回転寿司おもしろ大百科：お魚 凶鑑つき!』

(永岡書店 2015.7 J673/18N)

お店にあるレーンの仕組みやキッチンの様子など、普段は見れない所を詳しく解説。魚がお寿司になるまでの流れもわかります。寿司ネタになる魚の紹介も豊富で、凶鑑としても楽しめます。(中学年～)

『すしから見る日本 [4] 進化するSUSHI』

(川澄健/監修 文研出版 2016.1 J383/115N/4)

代表的な和食「お寿司」の奥深さや魅力を解説した本です。歴史、文化、職業、世界ではどのように親しまれているかなど、様々な角度からお寿司のことがわかります。全5巻。(高学年～)

こども資料室の棚をしてみよう！

和食に関する本は「12 社会」の棚のほか、「13 産業・環境」に食材の本、「20 料理・工作」にレシピの本などがあるよ。